

RINKU SMILE

地方独立行政法人 りんくう総合医療センター ●院内・院外広報誌

発行・責任者：広報・年報編集委員長 増田 大作 / 〒598-8577 大阪府泉佐野市りんくう往来北2番地の23
TEL: 072-469-3111(代) FAX: 072-469-7929 http://www.rgmc.izumisano.osaka.jp/ 発行日：2019年1月30日



CONTENTS

p.1 特別寄稿1

p.2 年頭所感
特別寄稿2

特別寄稿3

特別寄稿4

特別寄稿5

p.4 特別企画

メディカルスタッフの活躍と多職種連携の推進

p.5 外来診療予定表

p.6 泉州広域母子医療センター

p.8 JMIP更新 / イベント情報 / ご寄附のお願い

理事長 八木原 俊克
病院長 山下 静也
泉州救命救急センター所長
中尾 彰太
副病院長 永井 義幸
看護局長 藤野 正子
地域医療連携室長
中西 賢

『2019年の
一文字』

和

大学医局の額か
「和気満堂」超多忙
ら引用。中、「和の心」で頑張りぬいて
DPC特定病院群を達成。「和」を再認識。

引き続き、この地域の全施設が一丸となり、大阪・泉南の益々の発展に貢献できれば幸いです。

一方、本年中にはウエルネスケア研究センターを稼働し、これまで念願であった泉南地域の未病対策を進めてゆきたいと考えています。

泉南地域の医療における最強武器は、何といってもこれまでの地域医療の中で培ってきた綿密・そして強力な地域連携ですが、これからの訪日旅行者への対応に関しては、大阪・堺市内など、さらに広い範囲の施設との連携も必要になると考えられます。

近年、訪日旅行者が増加する中、泉南地域での滞在者は急速に増加していますが、本年6月にはG20サミットが大阪で開催、来年は東京オリンピック、そして2025年には大阪万博の開催が決定しています。今後さらに多くの海外からの来訪者を迎えるにあたり、大阪の南玄関の安全と健康を守る施設としての機能強化が求められています。

新年明けましておめでとうございます！



理事長

八木原 俊克

「大阪」と「泉南」の
これからと
病院の役割とは

特別寄稿1